
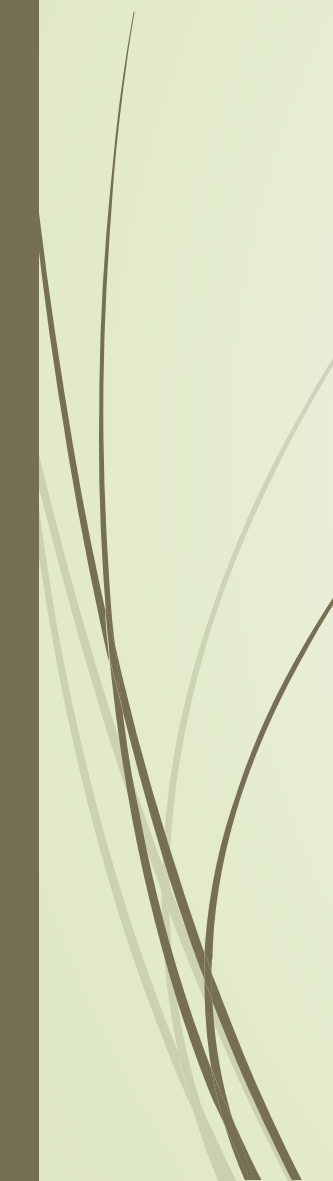


とっとり県美応援団 会員アンケート実施結果

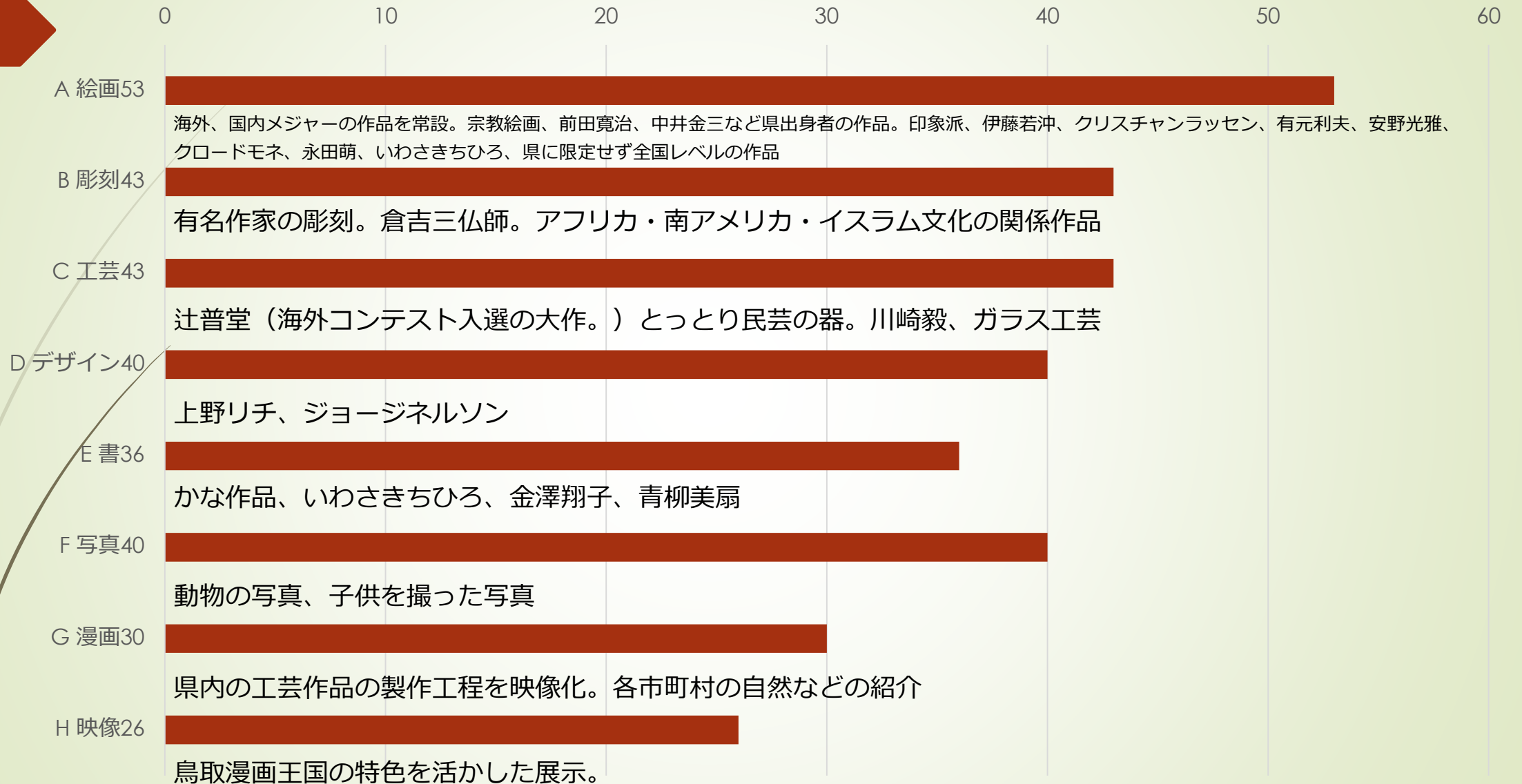
美術館開館後に「県民が主役になって活躍できる美術館」のしくみづくりはすでに始まっておりませんが、まかせきりにしないで自分たちのこととして「わたしたち鳥取県民が美術館に希望すること」を深く考え「声を届ける」ことでより良い開館を迎えられると思います。そこで、9問のアンケートを実施しました。

今回のアンケートは応援団約120名を対象にメール会員18名、封書会員36名、合計54名の会員から回答をいただきました。

(2021年12月実施)

- 
- 
- Q1 県立美術館ではどのような作品を見たいと思われませんか。（希望ジャンルを複数回答可）
その他、希望されることなどをお聞かせ下さい。
- Q2 県立美術館の1階には「県民ギャラリー」ができます。どのような活用がよいですか。
- Q3 県立美術館には様々なワークショップ（体験活動および講座）が行なわれます。
体験したい。参加したい内容をお聞かせ下さい。
- Q4 県立美術館には屋外展示（創作の森、彫刻の庭等）のスペースが作られます。どんなものを
野外に展示してほしいですか。あったらいいなと思われるものは
- Q5 大御堂廃寺跡の隣に建つ県立美術館です。連携していくためのアイデアや工夫を教えてください
下さい
- Q6 県立美術館と周辺地域との連携についてのアイデアをお聞かせ下さい。
- Q7 県立美術館へのアクセス（JR、バス、自家用車）について来館しやすくなるための
アイデアや良い方法などを教えてください。
- Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。
- Q9 その他、県立美術館へのご意見ご要望等をお聞かせ下さい。

Q1 県立美術館ではどのような作品を見たいと思われませんか。（希望ジャンルを複数回答可）



Q1のジャンル選択以外に展示希望があった分野や意見。

分野それぞれに世代別に「人をつくる」のコンセプトに繋がるような企画展をし、美術館の特徴を作り出していく。

何度も足を運びたくなるような空間→自分も足を運びたいと思える作品展示。

県ゆかりの展示コーナーをまとめる。

(漫画家、コナン関係、原画、郷土玩具、土天神、はこた人形、れんべい人形、民芸コーナー、県焼物窯元の紹介(販売も)、砂丘社(芸術活動の歴史風土があるとの紹介)、人間国宝2名、仏像彫刻の紹介など)

県美のテーマ性、特徴の重視、県美をイメージする企画希望。世代別・分野別・公募展を実施。

Q1-2 その他、希望されることなどをお聞かせ下さい。（なんでも）

「つくる」が基本コンセプトなので作家を育てるためにも鑑賞者のレベルアップが大切。あらゆるジャンルの質の高い「教材」を計画的に整えていく運営を希望。

【展示内容・企画展については】

1階から2階の有料ゾーンに気軽に足を運んでもらうしくみ。例えば子供をテーマにした企画展。前田寛治、森岡柳蔵、ルノワール、ピカソ、日本画、日本の国宝級の企画展で美術館に来てもらう「きっかけ」を作る。

美術史に名を残す作家と新進気鋭な作家とのコラボ。新作家の発掘に繋がる企画展。

鳥取県の芸術マップや陶工の紹介と顕彰コーナーを希望。民芸の色々な作品をみたい。珍しい天然石をみたい。

屋内外において写真スマホOKにしてほしい（発信）。全ての作品に解説をつけてほしい。

展示が頻繁に変わる美術館。現代絵画は飽きるのを避けて。器の展示と販売。民芸品の祭り有名な人でなくても作品で選んでほしい。

子供たちが気軽に立ち寄り本物にさわれる美術館。大人も学生も図工の時間として模写可能。絵本の原画展。名画のレプリカコーナー。

専門家の眼を通して展示作品の選択（高い品位を保ってほしい）。県内の美術館施設と連携＆中心の役割。

日本全国に鳥取県美を知らしめ「格式」や「権威」をつけてほしい。

展示作品が影響を与え、レベルの高い作品の創作に繋がる。将来日本を代表する作家が育つ。

Q2 県立美術館の1階には「県民ギャラリー」ができます。どのような活用がよいですか。

県作家の作品の紹介。新収蔵の作品展示。（2階以外にも県民ギャラリーにも展示希望。）

県内学生の優秀作品の展示。学校の美術部に活用してもらおう。ミニコンサートの会場として。
（地元若手演奏家・手作り楽器による演奏）

子供やサークルの作品展示を無料または低価格で。公民館のサークル的な作品展示は遠慮してほしい。ありふれたものにならないよう、あくまで県民ギャラリーが才能ある人々の登龍門となるようなステータスのある場所にしてほしい。県内外で活躍されている作家の個性を尊重しながら独自性を追求した作品展示を。

広い空間に雑多な展示にならぬようなレイアウト、会場整備、アマプロを分けて展示希望。

裾野の広い活用（松江の模型クラブを例に）。県民が自由に企画展開できる場に。学校や公民館と違うので、ある程度の基準を設けて。県民の文化発表の場に。

春夏秋冬の季節をテーマにした絵画・写真・書の展示。倉吉絢の紹介。

月ごとにテーマ・人物を詳しく紹介（興味を持ってもらう目的）。若者から高齢者まで作品展示。鳥取県を紹介。子供たちの展示会は観客動員がアップする。障がいのある人の作品。小さな子供も楽しめるギャラリー展示。

街角ピアノ。みんなで作り上げた大作品を展示。落書きコーナー。

各地域の公民館とタイアップ。作品展示期間を決め場所提供。県民ギャラリーで（県内表彰＝知事賞、教育長賞、市長賞など）個性尊重と独自性の追求をする姿勢が重要。

Q3 県立美術館には様々なワークショップが行なわれます。体験・参加したい内容

親子や大人と子供と一緒にできる。高齢者も参加できる。手軽な体験活動。手作り体験。
（タイルコースター、絵手紙、切り絵、布絵、水彩画、木工、日本画、モザイクアート
倉吉絣、写真、型染め、デザイン、漫画、版画、彫刻、奈良時代の食の調理体験（大御堂）
トールペイント、ペーパークラフト、パッチワーク、レジン、フラワーアレンジメント）
倉吉にある打吹山の植物を使った葉作成。はがき作り。鳥取ゆかりのサクラクレパス使用。

作品展示をしている作家と一緒に作品をつくる体験。小学生対象の遊びの中から製作体験。

集会場らしくないもの。館内展示の模写体験。

一流アーティストやエッセイストや学識者の講演やワークショップ。館内展示の模写。

〇〇入門講座。アニメの作り方講座。アニメ業界まるわかり講座。アニメ作画体験。

現代アート技法を学ぶ。（デカルコマニー、スパッタリング、ドリッピング等）

夜の展示観覧体験。前田寛治の勉強会。モノづくりに興味を持ってもらう機会を。

つくる活動を継続し最終的にはみんなの集合作品・共同作品を仕上げる体験。過程も展示。

Q4 県立美術館には屋外展示（創作の森・彫刻の庭等）のスペース。展示希望は？

心の休まる彫刻展示（県民から作品募集を今から始めて）地元作家・湯村さん・辻晋道さん作品
大きなハコタ人形・田後笠など民芸モニュメント。周囲の景観を考慮。

大御堂廃寺=7世紀の人々の像。世界中の7世紀時代の衣装を着た人々の像。

現代アート作品。草間さんの作品（それだけで集客UP）。野外彫刻。古民家（竹細工体験）。遊戯彫刻。

奥谷俊治、龍門仏のレプリカ。安易に子供連れの人気を取る安っぽい場所にしてほしくない。

動物や木のぬくもりを感じるやさしい展示物。大御堂との調和。彫刻の森をライトアップ。

小さな子供がさわったり乗ったり遊んだりできる。倉吉の野外彫刻、プロムナードとの調和。

実物大のコナンキャラクター等、観光客寄せできるスポット。

日々天候で動きがあるもの。大きな砂場。樹木、砂などテーマを決める。モネの庭

イサムノグチのレプリカ。展示の中に人々の暮らしがある空間。季節の花ロード（藤・彼岸花）

子供が遊べるスペース。シンボリックなもの。周りの風景と調和。鳥取県出身作家作品。

彫刻の街として美術館までの移動ルートに彫刻を配置。散策かつ楽しめるよう屋外でライブコンサートも。

何かの物語をそっくり彫刻に。四季を楽しめるもの。メッセージ性のあるもの。水や光で遊べる。

時間で変わる風景。椅子など実際に触れられるもの。屋外展示を得意とする作家作品

Q5 大御堂廃寺の隣に建つ美術館です。連携していくためのアイデアや工夫は

廃寺跡に散策・休憩できる屋根つきベンチを。綺麗な芝生を残し、整備と木製ベンチテーブルの設置。

借景背景を生かしてVRを使った散策。3階から南側にVRスコープ常設で当時の伽藍がVRで蘇る

大御堂 = 宗教に関係する展示。歴史関係で鳥取の刀剣も展示。

古代の大御堂廃寺をCGで見られるように。海を渡った大陸文化との関係、影響を説明。

伽藍配置の掲示。大御堂出土品と正倉院御物との類似性の説明。美術館から廃寺跡への誘導しかけ。
(例：当時の寺院を飾っていた植物を植えて木立の並木を作る。)

天平白鳳時代の植物の道と東屋づくり。ボランティアの現地解説。日時を決めたガイドツアー応援団がガイドをする。
駐車場からつかいやすい道。

倉吉市には住民の知恵や工夫、協力を呼びかけてほしい。

大御堂廃寺関係のワークショップ。スタンプラリーや謎解きで誘導。文化財の発掘体験コーナー

発掘や復元工事のミニ紹介コーナーを県民ギャラリーにも。県外の方は史跡に興味ないので。

歴史を学ぶコーナーを美術館内にタイムスリップした感じを体験。現在計画の一部復元ではなく、三大聖樹に囲まれた講堂、塔大伽藍の復元を希望。廃寺跡資料館も建設して。センスのよいパンフレットつくって。

外溝と廃寺跡との繋がりで見えるように。伯耆出雲など古代山陰の視点で美術品の展示希望。
国庁跡、国分寺跡の地図模型を作って周遊を促す。

Q6 県立美術館と周辺地域との連携のアイデアをお聞かせ下さい。

県美と倉博をセットで鑑賞できる観光コースを紹介する。A：県美&倉博&白壁土蔵&円形劇場
B：県美&コナン。C：県美&東郷池サイクリング&温泉。D:県美&三朝バイオリン美術館
E：県美&伯耆しあわせの郷で体験&みらい伝承館&旧小川家庭園。F：県美と中部の古墳群。

各市町村の日を設けてアピール&集客（入館を無料にして来館者数を増やす）。定期的に屋台村キッチンカーを開き、そこではアマチュア作家の作品や土産物の販売。「大御堂奈良御膳」なるグルメ名は？

収蔵作品の地域への貸し出し（レストラン・カフェ・病院・学校など）。

県と市との連携でアーティストを鳥取に呼び込む。移住芸術家クリエイターを育てる町。空き家や廃校を活用し、トキワ荘のような。（移住芸術家には創作活動以外に美術館での業務機会や市内での教育活動、農工業などのパート業務などで収入機会を提供）

市内の古民家を直島の家プロジェクトのようなアートスペースに。古民家を一軒まるごと大学生にプロデュースしてもらい作品展示。

地域おこし協力隊の制度活用や他のプログラムを国、県や市の予算で創設。（よい補助金制度がないか）

周辺周遊のパンフレットと割引クーポン券。未来中心と関連イベント（なしっこ館と梨をテーマに）。

百花堂などの団体と協力。温泉に宿泊して美術館が割引になると翌朝県外客が来館（三朝・はわい・東郷）

周辺観光地と相互割引。スタンプラリー。未来ウォークに県美鑑賞をコース設定。

Q6 県立美術館と周辺地域との連携のアイデアをお聞かせ下さい。

<つづき>

お茶やランチのお店では着物を着て小京都のイメージで。（県美の周辺に団体に食事できるレストランが無い。

地元のお土産がみつけれられるマップとグルメマップの作成→お金が落ちるよう誘引する。

鳥取県の農業をアピールする目的で古代の生活様式に挑戦。古代食、古代衣服を着てみたり、土器や古代染色の体験。

パークスクエアとの合同企画。

赤瓦や円形ミュージアムとの間に無料周遊バスを運行。

庭園コンサート。倉吉博物館との合同企画。図書館とタイアップしたコーナー作り。

県美周辺には河本緑石記念館、白壁土蔵群、赤瓦、桑田家、倉吉博物館、百花堂、さらに塩谷定好写真記念館、コナンの里、日南町美術館、板祐正出会いの館などの施設があります。その中でお薦めしてみても時にはガイド付きで案内してあげると喜ばれると思います。途中で餅しゃぶの店、そば店、土産物他都市から来た人には魅力いっぱいの街です。見て味わってほしい。

Q7 県立美術館へのアクセス（J R、バス、自家用車）来館しやすくなるアイデア。

ジオパークエリアや島根県美を例に、市内をめぐる巡回バス（E V車）。倉吉駅から100円バス
倉吉駅から循環 o r直通バスを作してほしい。

美術館でマイクロバスを所有してほしい。駅から倉吉の観光地を周遊するバス路線の設定。
次にその他の観光地への移動に便利な観光導線。

観光バス用に玄関に横付けの乗降所をつくる。帰りは個人差があるのでバス駐車場まで歩いてもら
う。駐車場から入場口まで遠い場合は動くエスカレーター。未来中心の中も近道通路に。

離れた自家用車Pにジャンボタクシーを常駐させ、オンデマンドで美術館からPまで無料運行。
Pの遠さが高齢者から苦情。駐車場は無料に（絶対有料に）

J R倉吉駅に目立つ看板を設置。（企画展の紹介も）。美術館までの標識も統一したり、
塗装をカラーにしたりしてワクワク感を持たせながら美術館へ導く工夫。

山陰道からわかり易く表示。アニメ風でコミカルな標識。県美に愛称、カラーや模様が必要。

レンタル自転車。空飛ぶタクシー。ドローンで人を運ぶ。アバターで見学できる空間を作る。

J Rやバスの案内も県美の案内と愛称をつける。今の展示会をその都度P Rする。

Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。（全文）

入場に関すること

- ・年間パスポート、美術館リピーターの特別パスポートやミュージアムパスポートによる入場割引。
- ・周辺観光地とのセット入場券の販売。
- ・入場券のデザインをランダムに変える。（人によりデザインが違う面白さ）
- ・入場券でカフェの割引特典（例：カフェの飲み物代が200円引など）カフェ利用だけの人でも美術館にいてみようかなとなる。⇒スイーツで集客も。
- ・絵葉書など来館者限定プレゼント特典
- ・企画展入場でポイントがたまる。⇒ポイントで商品と交換。
- ・県民、学生、高齢者、子供への入館者割引。
- ・〇〇市民招待の日、月に一度の入館者無料デー（平日、県民対象）。
- ・月曜休館でなく火曜か水曜を休館日にして、旅行者が多い日曜日～月曜日の旅行者に対応。
- ・仕事帰りに寄ってもらえる美術館運営を。
例）開館時間18時までなど
ライトアップや夜景、イヤホンガイドを瀧本美織さんやイモアヤコさんに。

Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。（全文）

企画・展示・催しなどに関すること①

- ・お金がかかっても初回の企画展はビッグに!! 例) タイ大使館蔵の前田寛治の作品を展示し、現代に活躍する若手作家の作品とコラボさせたりするとか、ひねりのある企画を実現させて。ギャラリートークや講演会など 関連付けたワークショップの実施など。
- ・リピートには企画が大事。特に若い人、子供たちが懐かしがるような思い出づくりができる企画が良い。それに関連して、ワークショップも充実すると思う。
- ・年に一度はビッグな企画展を!!サブカルチャーなど少数だがコアなファン向けの企画展もあるとよい。多様性を大切にしてください。
- ・リピーターを掴むような企画展やワークショップの継続実施。
- ・企画展は硬軟メリハリをつけると注目される。広報が大事。万人向けかターゲットを絞るかなども考慮。
- ・目玉の絵画の常設展示⇒県外のバスガイドさんでもバス車内で「鳥取県立美術館は～」と紹介してもらえるような特徴のある展示内容。
- ・全国からの集客を狙い、話題を呼ぶ作品の展示。
- ・発信力があり美術館の価値を知っている人にまずは来館してもらい満足感を持ってもらう。次に、マスコミや知人に働きかけて認知度を高める。そのためにも開館当初の一定期間は、全国区に発信力のある館長や名誉館長を希望します。その間に特色ある企画展やワークショップや対話型鑑賞活動など継続した活動を積み重ねて「県民立美術館」としての特色をつくり上げ、「行ってみたいワクワク感いっぱいの美術館」の魅力をつくり上げる。

Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。（全文）

企画・展示・催しなどに関すること②

- ・ひろまには、季節感を重視した展示を。
- ・常設展示は季節や行事に沿ったものに変えるなど工夫する。
- ・日曜美術館（NHK）に取り上げられるようなイベントをする。
- ・年間1000の催しを確実に継続実施して、その様子を多くの人達に工夫をして伝える。
- ・有名作家の展示。
- ・誰もが幼い頃に耳や目にした昔話やグリム童話にちなんだ作品の展示。
- ・美術館主催の絵画、書のコンクールなど。
- ・敬老の日がある9月は高齢者向けイベントを実施する。
- ・親子づれの来館を促す。⇒子供会行事、PTA行事、学校行事。バスツアーの企画
- ・「美術館」ではあるが集客のために催し物をして興味をもたせる時代。
例えば、館内外で結婚式とか金銀婚式、披露宴、ライブ、地元民にとっては“遊び”の対象が「県美」となるようにしたい。
- ・中部の学校の児童生徒は、年一度は来館し1日過ごして体験活動を行う。
- ・旬の果物の名前あてクイズ（ゆず、キンカン、シークワサー、レモン、ミカン）。
野菜の花の展示をして名前あて（小学校の図書館でしました）。
- ・鳥取方面や米子方面からの観光ツアー、県外からの観光ツアー向けに、展示に関係性のある観光地や食事を提供する。旅行会社を巻き込んで。

Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。（全文）

企画・展示・催しなどに関すること③

- ・ 県内外向けに美術館を入れたモデルコースを作って県内外の方に鳥取県のよさ（のんびり落ち着いてすごせる）を体感してもらう。...・季節ごとのイベント開催。
- ・ 館内を一人の作家のスペースをとる等し、HPを充実させて毎日発信する。
- ・ 鳥取県の持つポップカルチャーの土壌を活かし、伝統文化と時代の先端を融合し、子供や若い世代に訴求するコンテンツを発信。⇒担い手を育てていく。
- ・ 健康づくりウォーキングやランニングコースで敷地内を使ってもらう。
（例：都会でしか見られなかったゴッホ、フェルメール、ピカソ等を見るために鳥取県へ来てもらう）

Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。（全文）

施設に関すること

- ・キッズコーナー、カフェ、ショップ、足湯の設置など幅広い年齢層、高齢者や障がい者もくつろげる居場所に。
- ・地元野菜を使ったレストラン、地元栽培コーヒー豆で煎れたコーヒーショップ、地元の魚や鳥取牛を使ったレストランメニューをつくる
(今からコーヒーやお茶の苗木を植えて提供しては?!)
- ・パン屋（ベーカリーショップ）をつくり、外でランチを楽しむ。
- ・屋根付きの廊下で未来中心と繋げる。
- ・宙を浮いているような壮大なスペースでの展示を。
- ・二階の床が透明で一階のアートが違った形でみられる工夫を。
- ・クリスマスツリーを本物のモミの木に。
- ・無料Wi-Fi。
- ・朝市とかフリーマーケットなど、くらしと美術館が一体になるような工夫、特別な場所にしないような工夫を。
- ・まずは県中部への観光客の誘客、県中部へのアクセスの向上。
- ・周辺観光地とのコラボ。

Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。（全文）

広報に関すること

- ・若い世代向けの県美オリジナルキャラクター作成。
- ・マスコットやシンボルマークを作成。
- ・県美でしか買えないキャラクターグッズ作成。
(例：クリアファイル、ぬいぐるみ、キーホルダー、マグカップ)
- ・ケーブルテレビで「美術館コーナー」を作ってもらおう。
- ・美術館の会報を作り、全戸に配布。
- ・「県民立美術館」を正式名にしていただきたい。
- ・インスタやツイッターでの継続的な発信。
- ・都市部の展示会場に県美の案内チラシを置く。美術雑誌にイベント情報を掲載する。
- ・県民全員が入館するくらい参加と協力が必要。行政からのPRも活発にしてほしい。

Q8 県立美術館への来館者を増やすための方法やアイデアを教えてください。（全文）

思い

- ・豊かな自然と歴史を長所とし「鳥取県全体を美術館」とみなし、その核となりアート発信するのが「県立美術館」という捉えで様々な活動を体験し楽しみ感性豊かな人づくりができればと思う。
- ・開館スタートは集客できるがその後減少していく。県内外のリピーターを増やすには無難な優等生を目指さず、尖った独自のコンテンツを持つ美術館に。
- ・博物館と美術館とでは色々変わってくるのでは。入館者の年齢層を広げたり、内容を深めたり、高めたりするためには、素人の無駄とも思える議論が実は有効なのではないか。
- ・来館者を分析し来館されていない層へのアプローチ。（興味や集まりやすい場所への宣伝等を）
- ・PRして人材を集める。イベントごとに年代層を絞って。有料で経費も考えて運営してほしい。
- ・観光客だけをターゲットにせず、地元民が日常的に来館できる工夫をして子供にもたくさん来てもらい良い目を育ててほしい。
- ・学生や若者すべての方にも来館してほしい。
- ・美術館には静かな硬いイメージがあるが、人が集い町を作り未来を紡ぐという幅広い多種多様な新しい美術館になることを期待する。
- ・地方の美術館は混雑しないのが利点。
- ・館長や学芸員が企画と運営を工夫し、応援団と報道機関が展覧会の価値を宣伝するような良い協力関係ができればと希望する。
- ・集客には美術館長の手腕に期待する。

Q9 その他、県立美術館へのご意見ご要望をお聞かせ下さい。（全文）

運営に関すること

- ・参加者自らが美術に影響された生活へと変化を感じられる美術館の運営を。
- ・親しみ、既存の美術ファン層の声だけでなく、将来どのような美術館でありたいかの長期的な視点で若い層の声や希望や期待を吸い上げてほしい。・県やパートナーズは県民の声に寄り添ってほしい。
- ・全国初の「民間の運営」という付加価値を作り上げてほしい。
- ・オープン時だけでも集客力のある人を名誉館長に迎え入れてはどうか。（例えば原田マハさん、ヤマザキマリさん等、美術や美術館に対する造詣深い人を是非とも!!）
- ・全国的知名度の館長の移住。後援会の設立。寄付のクラウドファンディング。
=開館時に作品を寄付するための募金を集める。
- ・館長はパフォーマンスのある人が良い。
- ・県美には抽象的だが「求心力」と「遠心力」が必要。
「求心力」は県美の館長さんに相当な力量のある人の就任を望む。「遠心力」は長期一貫したテーマコンセプトを世間にアピールし、応援したいと思う美術館をイメージすること。
- ・美術を誰か特定の人だけの特別な場所にしないで、みんなで協力してやっている美術館に。県民の底力を見せる時は今。
- ・館内外がいつまでも綺麗に維持されていますように。
- ・集めたものが後に新たな価値を生むような、運営のユニークさを追求してほしい。
- ・生き生きとしたボランティアさんの活動を!!
- ・ボランティアの活動内容や申し込み方法や資格の要不要などについて、開館までの準備を教えてほしい。
- ・展示室の監視員をさせてもらうための申込の手続き方法などを教えてほしい。

Q9 その他、県立美術館へのご意見ご要望をお聞かせ下さい。（全文）

企画に関すること

- ・他県が今まで取り組んでないことをする。特に若い人をまきこんで足を運んでもらうような取り組みを。
- ・以前、県博の玄関前に展示されていたH字鋼が印象的だった。県美の入口近くにもシンボルとしてパワーを感じさせる作品設置を。
- ・家族連れや子供たちや若い世代がもっともっと美術に触れ感性を高められるような企画を。
- ・全国的に有名な作家の企画展を開催してほしい。
- ・行ったら何か作れるようなワークショップが常に行われていると楽しい。

施設に関すること

- ・ショッピングモールのような気軽さで県美を生活空間に入れ毎日楽しめる空間にしたい。
- ・ナイトミュージアム、カフェ、美術館で朝食を(^^♪。
- ・作品展の内容が一番大事ですが、ミュージアムショップが充実した美術館が好き。「良い美術館はショップも良い」と信じている。
- ・県立美術館の周辺がセントラルパークのような皆が集える場になれば素敵。
- ・地元のおいしいパン屋、弁当など、食に関するイベントをたくさん開催してほしい。
「鳥取県はグルメ天国県！」ですから。

Q9 その他、県立美術館へのご意見ご要望をお聞かせ下さい。（全文）

思い

- ・全国からも来てもらえるような「ザ・鳥取県美」になりますように。
- ・県民のための美術館であるために、楽しい居場所を皆で作る仕掛けがなされていることを期待する。
- ・敷居の低い美術館として全国民に愛されるものに。
- ・気軽に来られるけど訪れた日は特別感のある日になるような威厳のある場であってほしい。
- ・品格のある敷居の高くない美術館に。
- ・一階は話をしても良い美術館など、誰にでもとっつきやすく敷居の低い美術館であってほしい。
- ・県民の憩いの場で、美術文化に触れることのできる場所に。
- ・鳥取県民性は人にやさしい。多くの人が親切。だれでも受け入れますという大らかさが伝わるようにすれば、次世代につながるのではないか。
- ・透明性を持って地元の人々の関心を高めて深めて集めていって。今後もオープンにしていってほしい。
- ・静かな環境で落ち着いてゆっくり好きな作家の作品を見る場所に。
- ・継続的な県民との意見交換を通じて、今後の盛り上げ方を考えていってほしい。
- ・静寂で特別な空間に。